



淡路クラブ
古山 久則

ふるさと納税で祭りの支援は



問 ふるさと納税寄附金で、地域の祭りの支援事業はできるのか。

答 伝統芸能保存事業に当たります

ふるさと納税寄附金の活用事業として「淡路市活力ある地域づくり支援事業」があり、地域の活性化推進と、町内会等が実施する活動費用の一部を補助するものです。地域の祭りの支援については「伝

統芸能の保存運営に関する事業」に該当するため、補助事業の対象となっております。地域の祭りの主な内容については、令和3、4年度はコロナ禍の状況下で地域のイベントや行事等が自粛されており、だんじり本体やだんじり小屋の修繕等となっておりますが、コロナ禍の前はだんじり祭りの運営等にも活用されています。地方創生の原点は地域であり地域の活性化が必要

であると考えていることから、継続して支援が行われるよう取り組みます。



勇壮なだんじりの練り

書かない窓口を導入する考えは



住民目線の会
石岡 義恒

問 書かないワンストップ窓口を国が推進し、本格的に取組むことを求めているが、導入の考えは。

答 効果や課題を調査し、検討します

書かない窓口は、システム費用や職員の育成等があり、導入は考えていません。今後は効果や課題を調査し、国や先行自治体の動向を見ながら検討します。

本市は各種の手続きが、他部署に及ぶ転入・転出・出生・お悔やみ等の手続きの際は、担当部署と連携し、可能な限り同じ窓口で対応し、来庁者の方が窓口を歩き来しないようにしています。

問 マイナンバーカードの交付率と証明書コンビニ交付サービスの利用状況は。

答 5月現在で交付率は、77.37%となります。令和4年度で7,564件となり、前年と比較して約35%増加しています。

その他の質問

●お悔やみ窓口手続きの負担軽減は



コンビニ内の各種証明書発行機器

一人暮らし高齢者の見守り活動は



結いの会
多田 耕造

答 通信機貸与で安全確保を行います

問 社会の高齢化が進む中で、ひとり暮らしを続ける高齢者も多く、今後もライフスタイルの変化により、ますます増加する見通しである。ひとり暮らしの高齢者をサポートする方法や制度は、自治体によって異なっている。高齢者がいつまでも住みなれた地域で元気に暮らすことが出来る安心かつ安全な生活を確保するサービスは。

在宅高齢者等の安全を確保し、不安を解消することを目的に、高齢者の緊急援助の求めに速やかに対応できる緊急通報システム事業を行っています。ひとり暮らし高齢者に通報機器を貸与しています。援助を必要とした場合には淡路広域消防内に設置された緊急通報センターに通報され、駆け付け等の対応を行うものです。

その他の質問

●通電火災対策の感震ブレーカーの設置推進を



自宅に設置されている通報機器

ごみ搬入日は全て日曜日とすべき



無党派
田尾 成

問 粗大ごみの搬入日が月1回水曜日の午前7時から8時までとなっている。これでは、市民のゴミ出しに負担が大きい。ごみは、市民が出しやすい日曜日の午前中とすべきである。もし、忘れていたり、その時間に間に合わなかったら、次は、1カ月先の搬出となる。家族のだれもが出しやすい曜日とすべきである。

答 市民の利便性の向上に努めたい

ごみの収集日については、市民の利便性の向上に努めたいと考えています。

問 粗大ごみの中には、再利用が出来るものもある。市民が必要なものを見つける場所と機会を設けてはどうか。

答 市民のニーズに基づき、検討します。

その他の質問

●消火薬剤からの環境汚染対策について

津名 粗大・不燃ごみの日	
月1回 (第1火曜日)	
4月 4日	10月 3日
5月 2日	11月 7日
6月 6日	12月 5日
7月 4日	※1月 9日※
8月 1日	2月 6日
9月 5日	3月 5日

※1月1日～3日は期間のため、第2火曜日になります

狭い西浦県道の安全対策はいかに



結いの会
富永 康文

問 交通量が増加している西浦県道。側溝の蓋掛けや路面起こしによる路肩の拡幅等のハード整備を進めてもらっているが、サイクリストや四国のトラック関係団体等への注意喚起や推奨ルート等の申し入れの働き掛け等によるハード整備以外のソフト的な安全対策は。

「淡路地域モデルルート推進協議会」を発足させ、県が中心となって、ルートマップやコース案内看板等でサイクリストに向けた現地情報提供や県民局長と3市連盟で、徳島県トラック協会に対し、神戸淡路鳴門自動車道の全線利用を促して頂くよう要望しているところです。

その他の質問

●北淡震災記念公園及び周辺の一体型開発は
●住民への情報発信ツール充実を

●危険な樹木管理の徹底と桜の名所作りを



大型車も多く危険性が高まる県道

好調なふるさと納税 今後の対応は



淡路クラブ
松本 英志

問 2008年地方と都市の格差是正を主な目的として始まったふるさと納税、自治体間競争が激化し、数多くの問題点が指摘されている。そんな中でも本市は順調に推移している。市の認知度も高まり、着実に伸びるふるさと納税。今後も好調に伸びていくものと思うが、より慎重に誠意を持って取り組む事が大切である。また、活用にあたっては市民ニーズに答えられる

様に、より幅の広い施策にしていることが重要と考えるが。

答 大切な寄附金を有効に活用します

順調に伸びてきているふるさと納税については、目的を指定されている寄附を除き、より柔軟な対応を考えています。今後も市民の期待に添えるよう順次精査を進めます。

その他の質問

●新型コロナ5類移行後の対応策は



魅力あるまちへ利用される寄附金